



## 第 19 回 三保連合同シンポジウムプログラム

### テーマ 入退院支援の考え方

#### 【シンポジウムのねらい】

平成 30 年度診療報酬改定において「入院時支援加算」が創設されました。これまでの退院支援加算が見直され、入院前の段階から退院を見越した支援を充実させるために導入されました。一方、地域包括ケアシステムの充実には、医療機関と地域との連携が必要とされています。患者やその家族が、病院と在宅、医療と介護とを、よりスムーズに移行できるためには、入院前からの支援が求められています。

この度、入院時支援加算が創設された平成 30 年度診療報酬改定の際に、厚生労働省保険局医療課長であった迫井正深氏（現：厚生労働省大臣官房審議官）をお招きし、「入退院支援の考え方」と題したシンポジウムを企画いたしました。全体討論では、職種を超えた活発な意見交換を行い、これからの医療・介護において、患者にとって真に意義のある入退院支援を模索するための議論を行いたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 【プログラム】

##### 1. 開会の挨拶（18：30 ～ 18：35）

井部 俊子（看保連 代表理事）

##### 2. 基調講演（18：35～19：20）

###### 「入退院支援の考え方」

講師：迫井 正深（厚生労働省 大臣官房審議官）

司会：井部 俊子（看保連代表理事）

##### 3. パネルディスカッション（19：20～19：55）

パネラー：迫井正深（厚生労働省 大臣官房審議官）、小林弘祐（内保連理事長）  
岩中督（外保連会長）、井部俊子（看保連代表理事）

##### 4. 閉会の挨拶（19：55～20：00）

井部 俊子（看保連代表理事）